

舞鶴のおもてなし

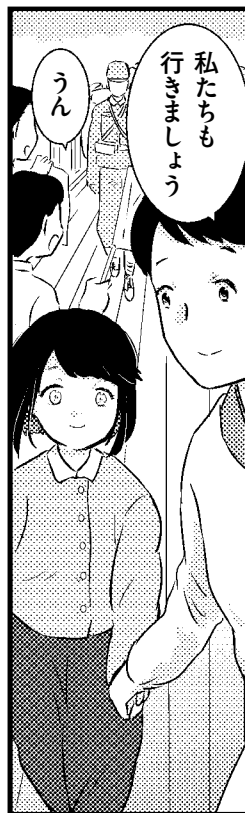
歓迎
まいづる

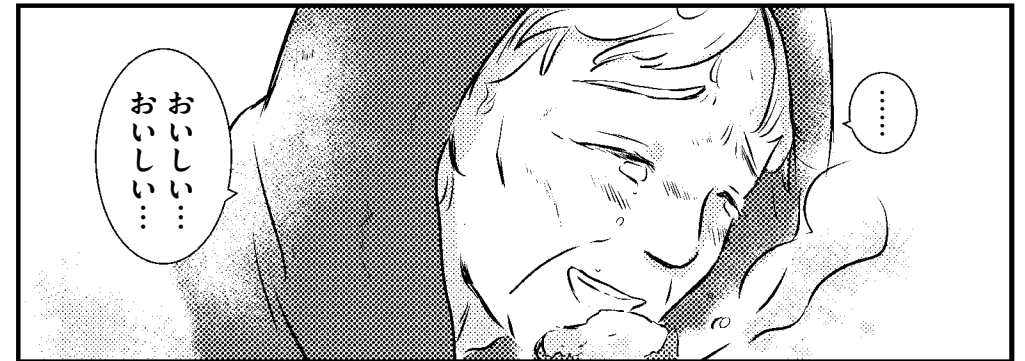
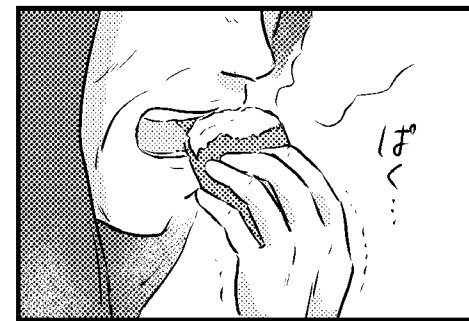
引揚船を受け入れ続けた舞鶴港

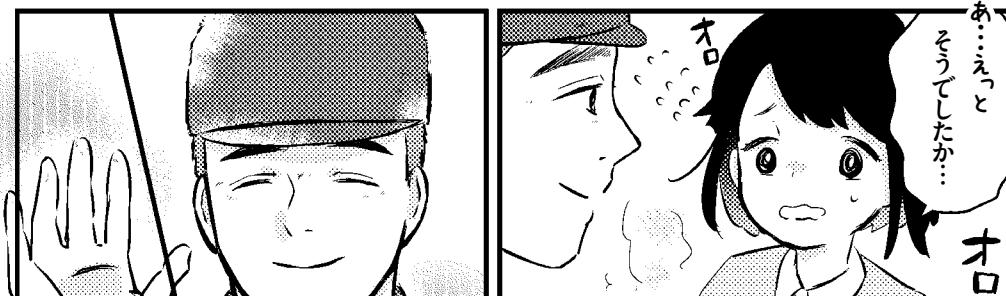
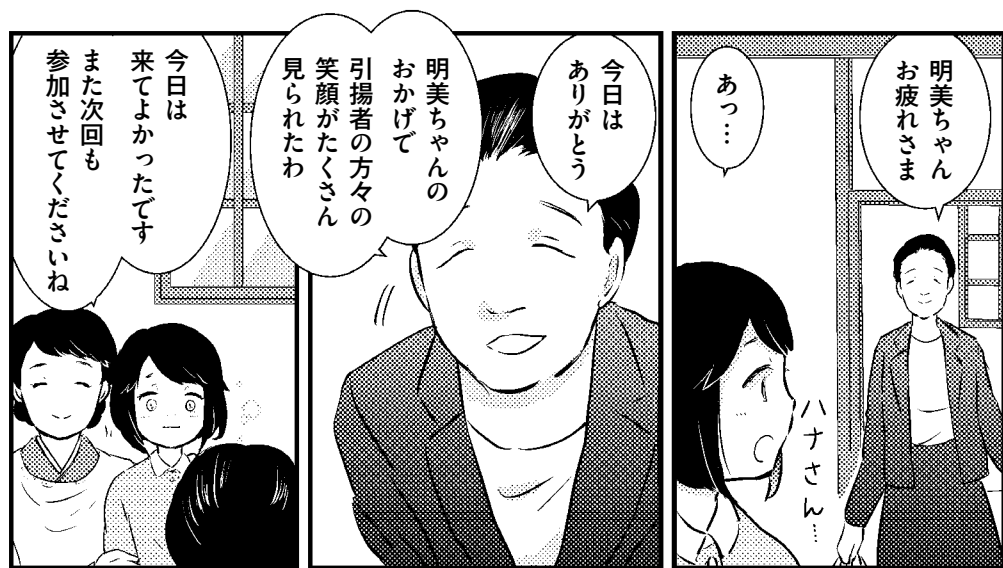
マンガ作画：そやま まい

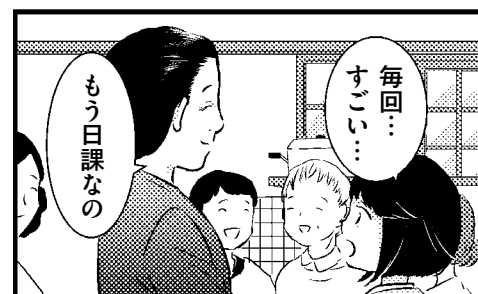
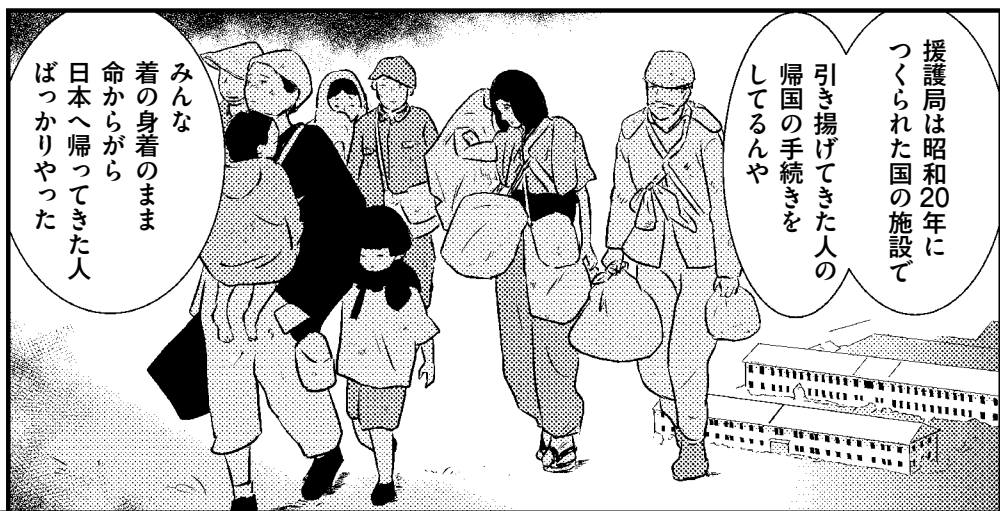
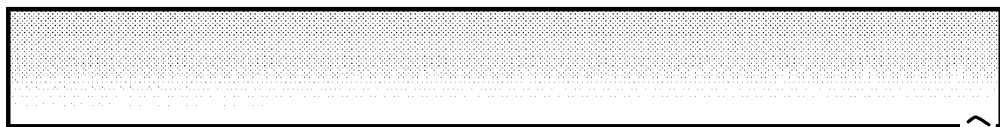
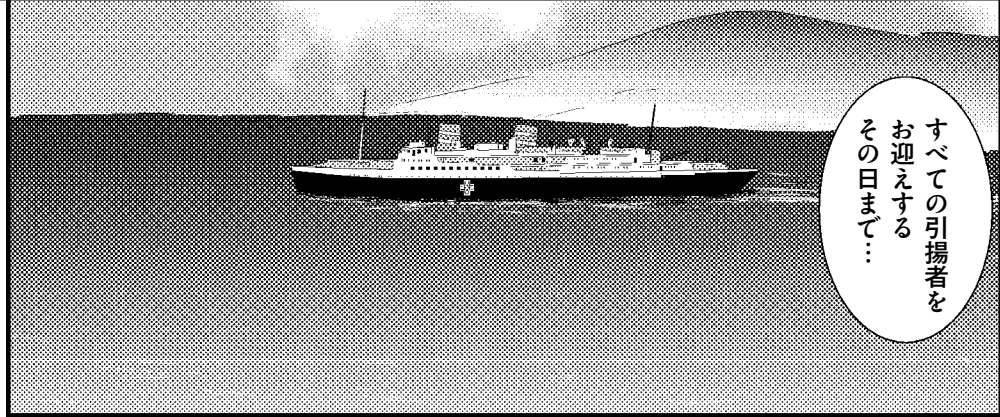
発行：舞鶴引揚記念館

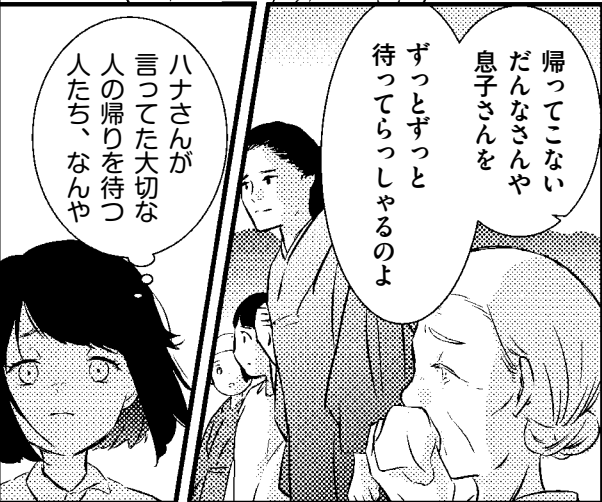
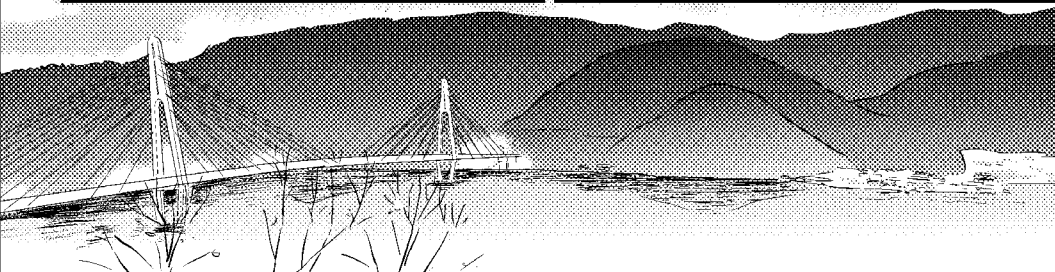


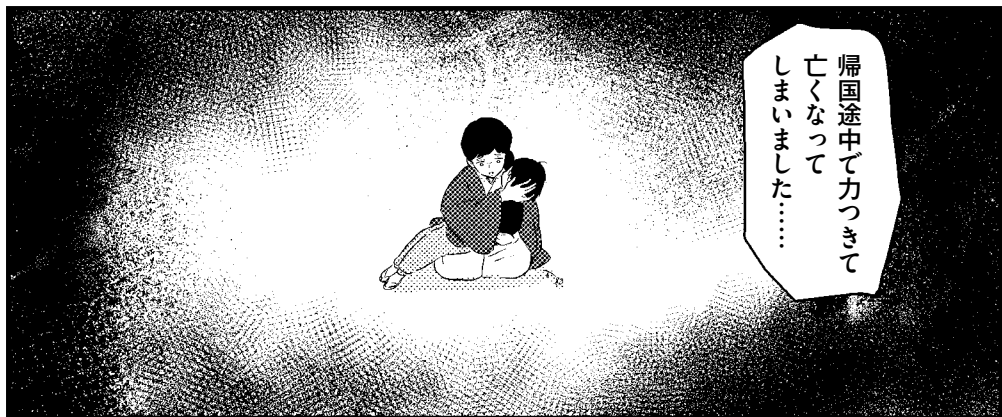




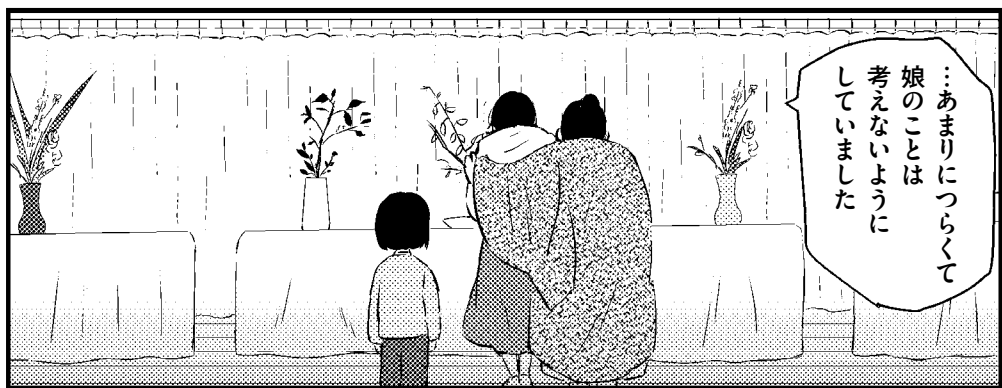




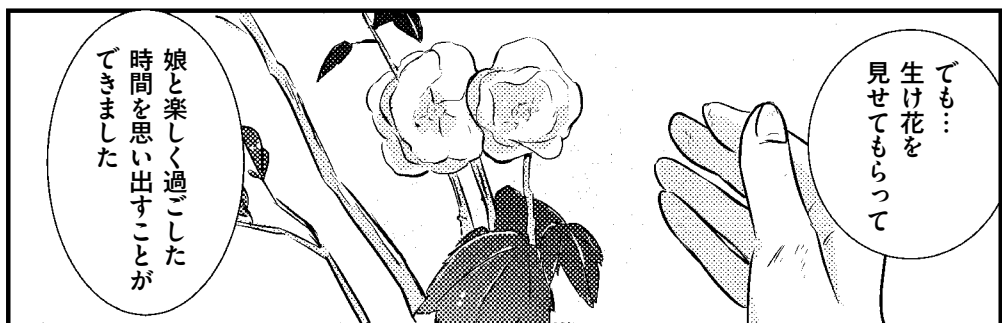




帰国途中で力つきて
亡くなって
しまいました……



……あまりにつらくて
娘のことは
考えないように
していました



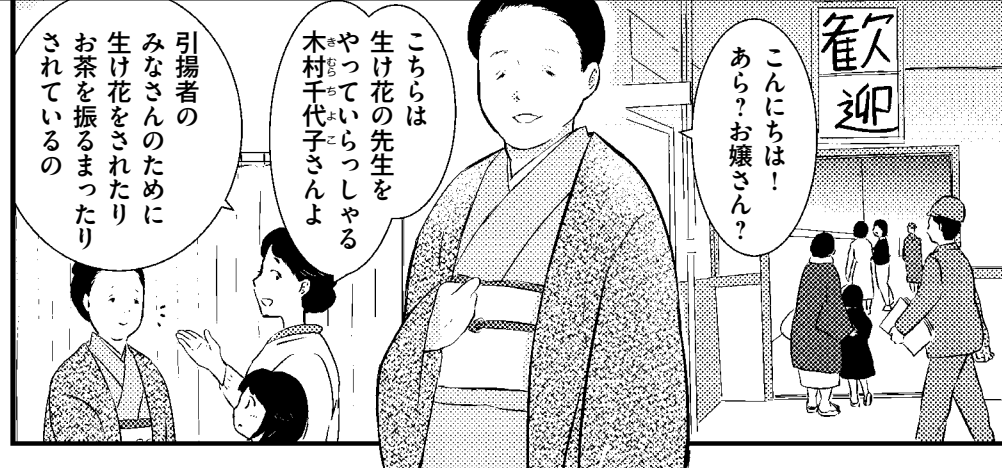
でも……
生け花を
見せてもらって

娘と楽しく過ごした
時間を思い出すことが
できました



ようやく涙を
流すことが
できました

ぽろ
ぽろ
娘をしっかりと
供養してやりたいと
思います



歓迎
こんにちは！
あら？お嬢さん？

こちらは
生け花の先生を
やっていらつしやる
木村千代子さんよ

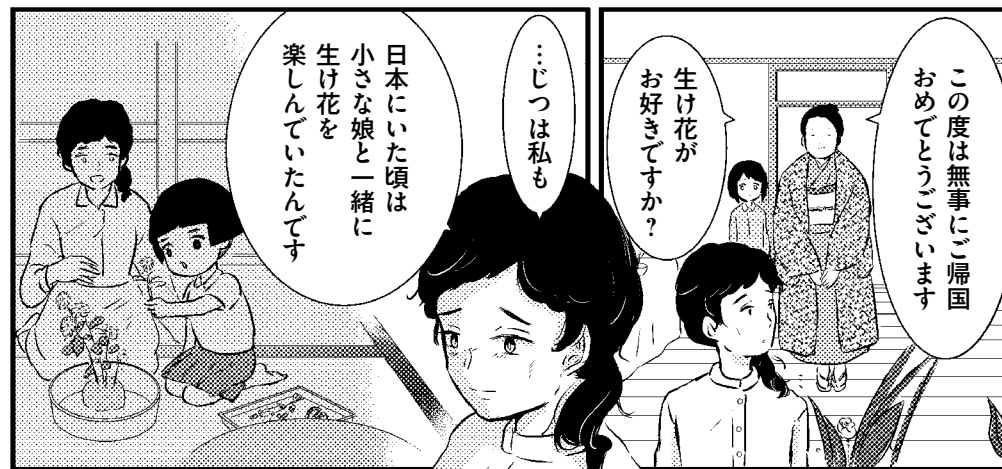
引揚者の
みなさんのために
生け花をされたり
お茶を振るまつたり
されているの



こんにちは
明美です

おはなの
せんせい！

はじめまして



この度は無事に帰国
おめでとうございます

生け花が
お好きですか？

……じつは私も

日本にいた頃は
小さな娘と一緒に
生け花を
楽しんでいました

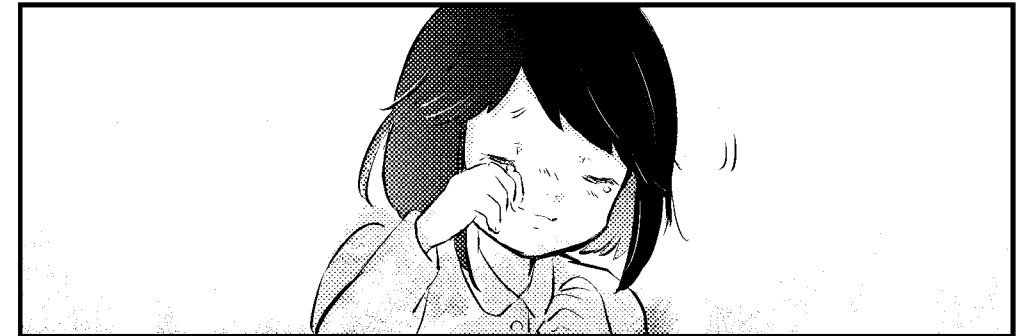
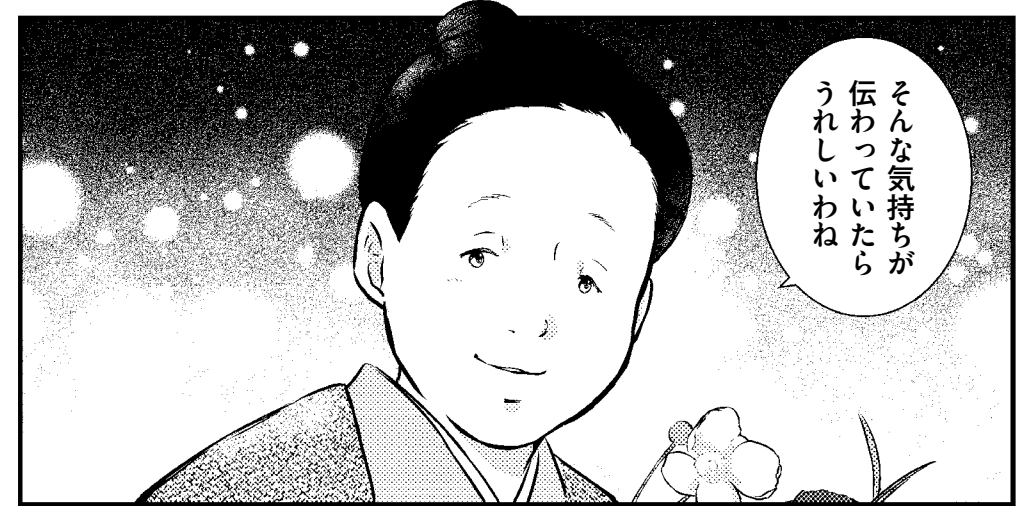
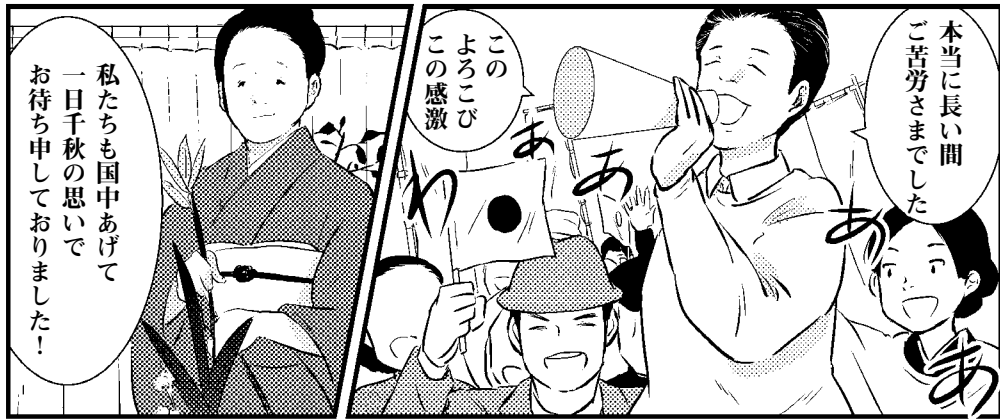


まあ
お嬢さんと一緒に
それはそれは……

……その娘は

できた！

チェイン





咲くには『笑う』という意味もあるからみんながずっと笑って暮らせますようにっていう願いも込められてるの

私の名前にはそんな意味があったんや！

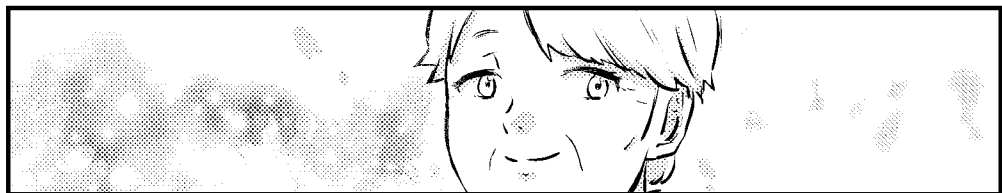


そういえば私の名前にも『咲』の字が入ってるね？

そうね

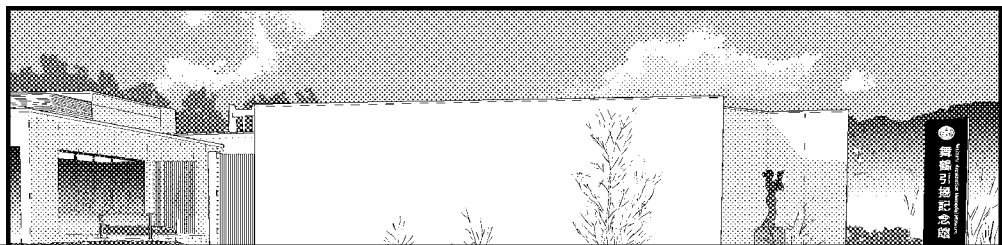


咲良が生まれた時にお母さんに名前の由来を聞かせたら『咲』の字を使いたいと言ったの



うん
いいよー

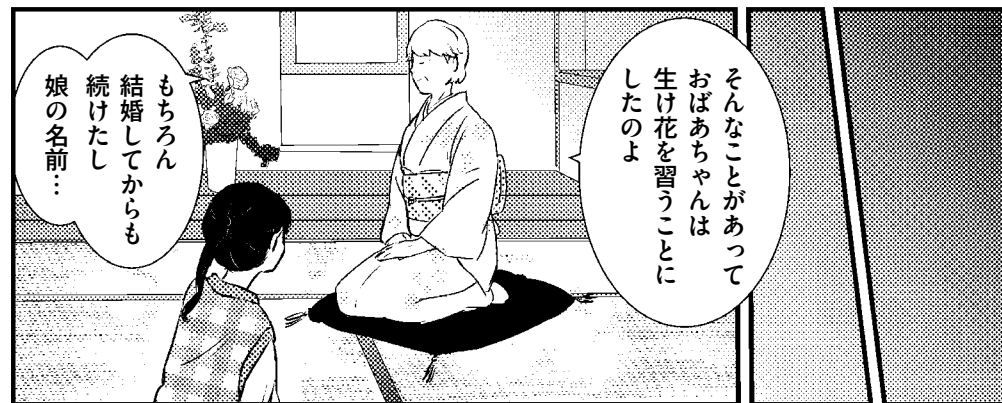
咲良
せっかくやし
ちよつと
お出かけしない？



舞鶴・平引揚棧橋復元竣工

その後も人々や平和のために活躍されたの

木村千代子さんも田端ハナさんもそれぞれの
おもてなしで最後の引揚者まで
お迎えして



もちろん結婚してからも続けたし娘の名前！

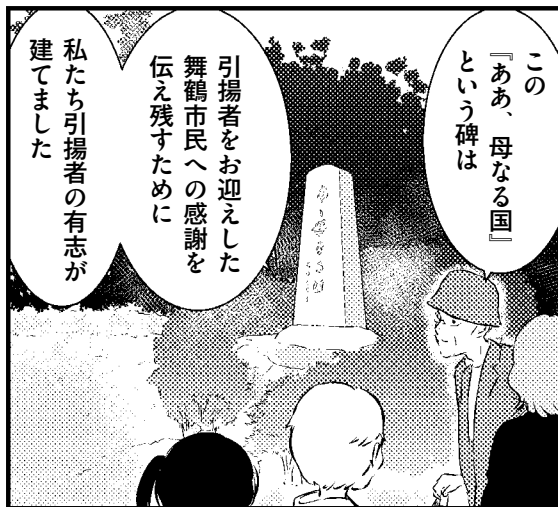
そんなことがあっておばあちゃんが生け花を習うことにしたのよ



あの時の女性のような
つらい思いをする人が
いませんように！

平和な世の中が続いて
お花が美しく
咲き続けられますようにって
いう想いを込めたの

そう
咲良の
お母さんの名前を
『美咲』にしたのも
その時の思い出が
あったからよ



この
『ああ、母なる国』
という碑は
引揚者をお迎えした
舞鶴市民への感謝を
伝えるために
私たち引揚者の有志が
建てました



そうなんですわね！
今日はなつかしい
思い出の地を
孫と見たくて来ました



私は感動で涙が
止まりませんでした



でもたくさんの
「お帰るなさい」の
声が聞こえて



私はシベリア
から引き揚げて
きたのですが

あの時は
長い抑留生活で
心が疲れ切って
いたんです



これはハナさんが
引き揚げへの想いを
うたった歌碑よ



おばあちゃん
なんて引揚記念館に
来たの？

記念館の公園に
田端ハナさんに
関係するものがあるの



「こだまする
引揚船の海鳴りに
天地もさけよ
今 君帰る」

引き揚げのことや
出迎えた舞鶴市民の
温かい心を未来へ
伝えていく碑なのよ



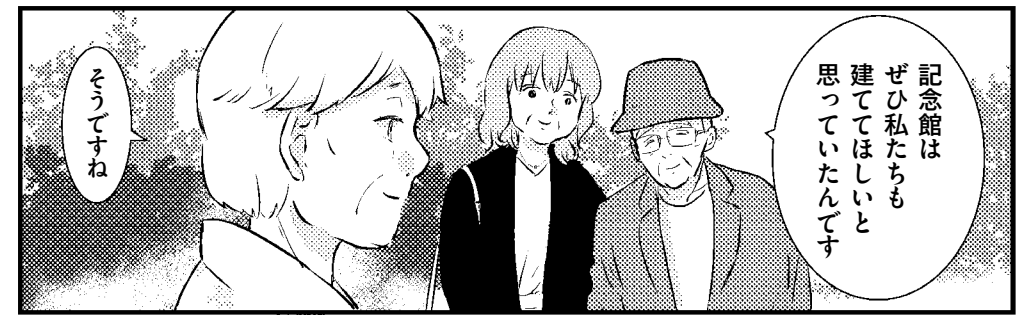
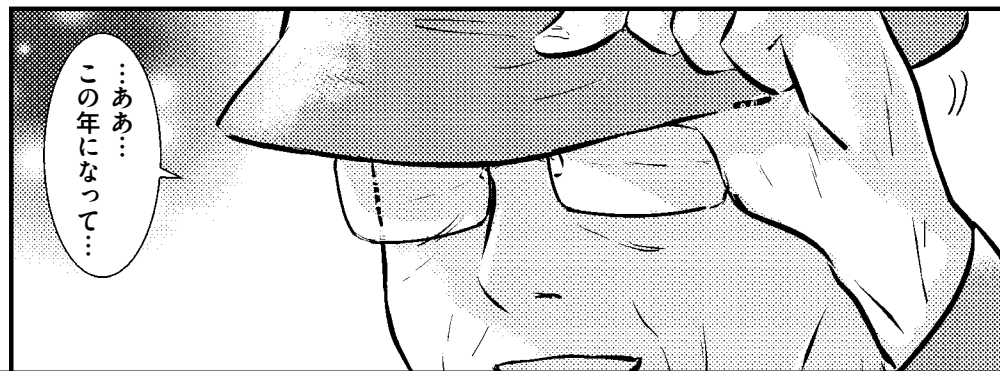
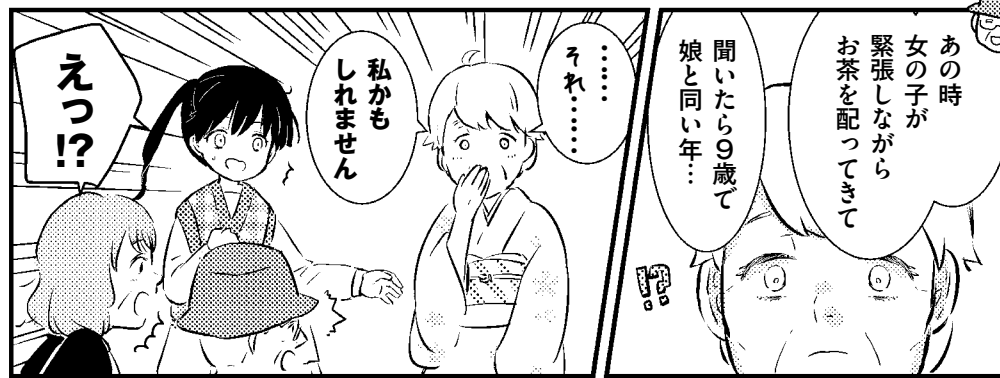
私はお世話になった
引揚者のひとりです

あ…はい
そうですが…

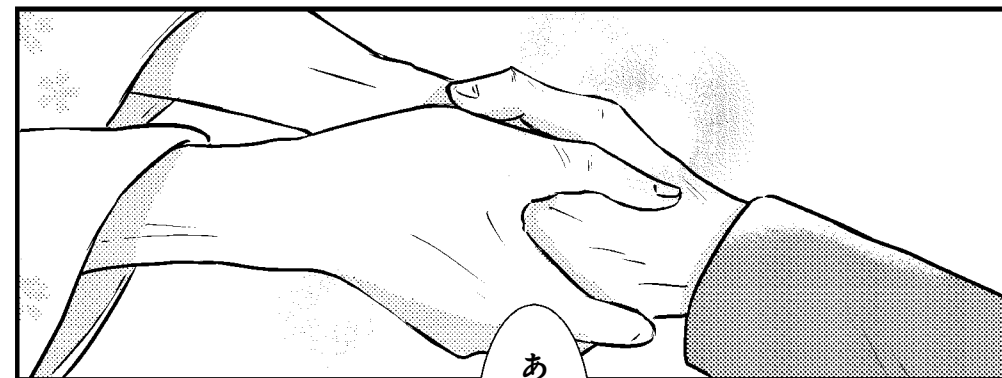
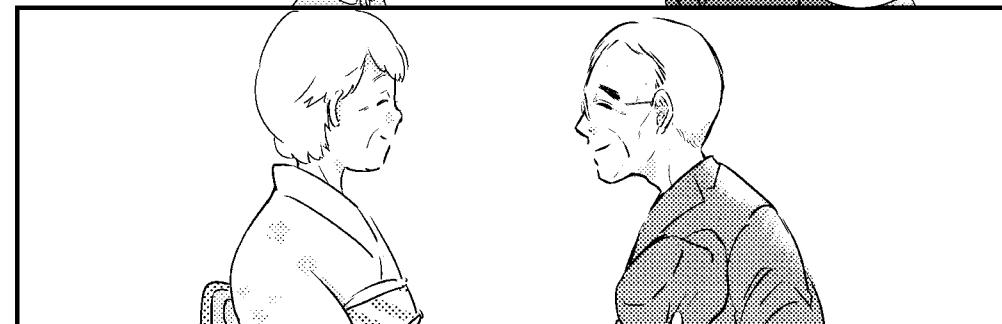


あそこには
『ああ、母なる国』の碑…

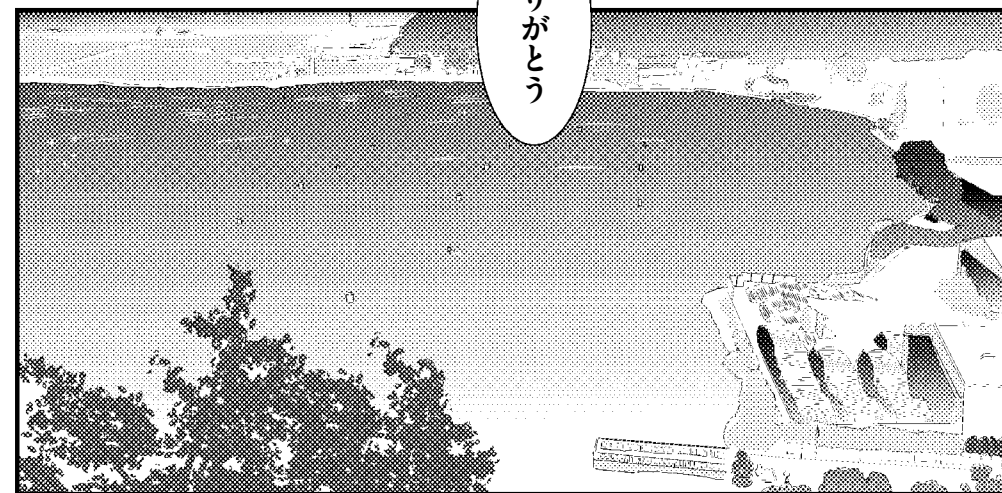
もしかして
引揚関係者の
方ですか？



また舞鶴でのご縁に感謝することが増えましたよ



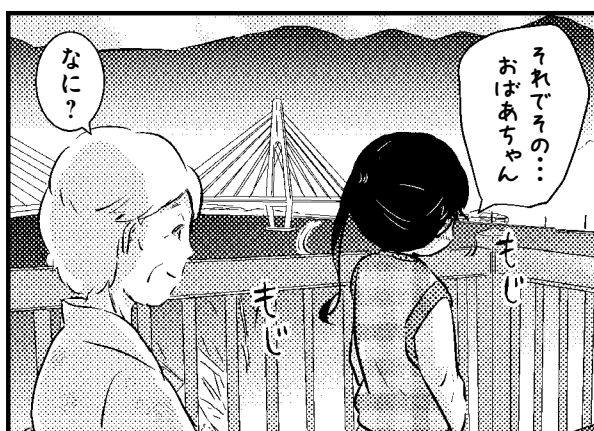
ありがとう



：引き揚げはもちろん戦争のことって今までちゃんと考えたことなかったな



戦争は絶対に起きてほしくないしなくなっほしいって思ったよ



咲良がそう思ってくれておばあちゃんうれしいわ！

よしよしー

それでその…おばあちゃん

なに？



私も生け花やってみようかな

なんて…





舞鶴のおもてなし

引揚船を受け入れ続けた舞鶴港

発行 2022年3月31日
舞鶴引揚記念館
〒625-0133 京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内
TEL: 0773-68-0836 / FAX: 0773-68-0370

マンガ作画 そやま まい
編集 京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室

※本書の無断複製、転載は著作権法上の例外を除き、禁じられています。

©舞鶴引揚記念館



ユネスコ世界記憶遺産

舞鶴引揚記念館

Maizuru Repatriation
Memorial Museum